

● 病院の特色

1. 急性期後のリハビリテーションを中心に、地域の在宅医療を支援する機能を持った病院である。
2. 地域密着型の予防医学的な側面にも力を入れ、地域住民や学校、医師会との共同事業を展開している。

● 診療実績

1. 入院： 延べ入院患者総数(人/年)： 内科系 4476, 外科系 2784 ; 計 7260
 一日平均患者数 : 19.9

(人/年)

	疾患	患者数
1	神経系	29
2	耳鼻咽喉科系	0
3	呼吸器系	26
4	循環器系	1
5	消化器系	12
6	筋骨格系	58
7	皮膚皮下組織 腎尿路系、生殖器系	8
8	内分泌・栄養・代謝系	20
9	腎泌尿器系	3
10	婦人科系	0
11	血液・免疫その他	7
12	外傷・熱傷・中毒系	14
13	その他	46

2. 外来： 延べ外来患者総数(人/年)：
 内科 8139, 外科 1898, リハビリ科 908, 眼科 879, 皮膚科 501; 計 12325
 一日平均患者数 : 50.9

● 各部門の実績

1. 臨床検査科

部門の構成人員： 1名

報告者名：中山 弘美

<診療科の特色>

1名の検査技師が常駐し検体検査、生理検査業務を行っている。
 院内感染対策委員会の中心メンバーとして活動を行っている
 ホームページ・広報委員会のメンバーとして活動を行っている。

<主たる業務の状況>

検体検査

2021年度検体検査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
尿・便等検査	309	286	279	259	325	360	350	347	355	300	284	318	3,772
髄液検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血液検査	505	463	442	416	537	530	480	433	479	472	416	483	5,656
生化学検査	5596	5132	4736	4576	5753	5946	5454	5115	5261	5009	4465	5,543	62,586
内分泌検査	126	78	86	58	92	97	98	96	94	98	68	92	1,083
免疫検査	331	262	278	236	332	310	279	247	294	355	259	294	3,477
合計	6,867	6,221	5,821	5,545	7,039	7,243	6,661	6,238	6,483	6,234	5,492	6,730	76,574

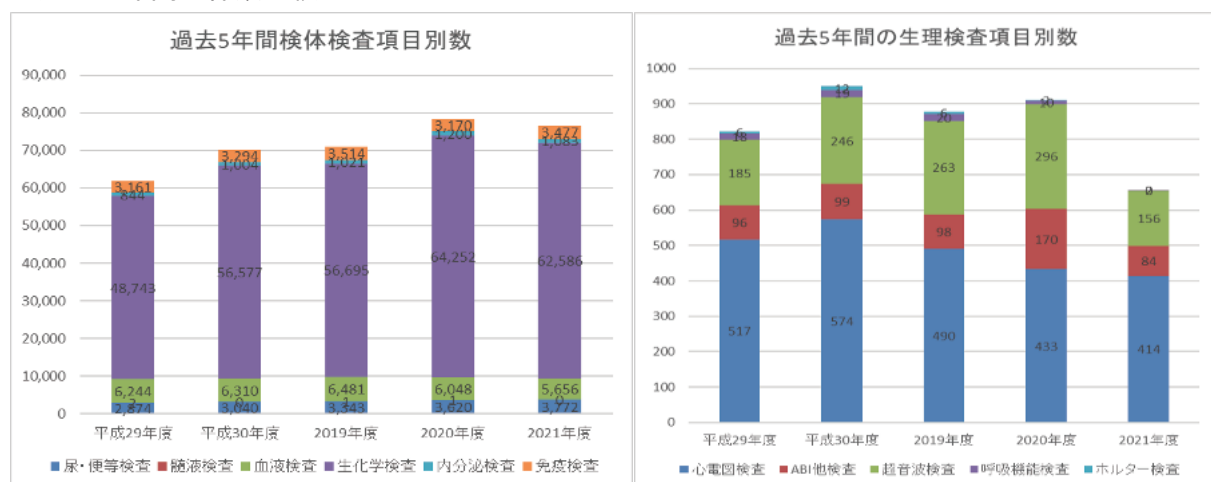
生理検査

2021年度生理検査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心電図検査	35	23	39	28	38	41	34	37	43	28	29	39	414
ABI検査	6	8	8	4	4	2	6	4	5	2	6	10	65
SAS	2	1	3	1	2	1	0	2	0	2	3	2	19
超音波検査	21	7	20	9	9	13	10	14	19	12	12	10	156
呼吸機能検査	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
ホルター検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	65	40	70	42	53	57	50	57	67	44	50	61	656

- ・平成30年12月に医療法等の一部改正により、医療機関が自ら行う検体検査の精度の確保に関する基準として必要になった標準作業書の作成、改訂を行った。
- ・外部精度管理への参加：日臨技サーベイ・岡臨技サーベイ・各装置のメーカーが行う精度管理に参加。
- ・院内感染対策委員会としての活動：感染対策マニュアル改正、SARS-Co-2 感染対策マニュアル作成、感染対策室だよりの発行。

<過去5年間の件数比較>



2. 薬剤科

部門の構成人員：1名

報告者名：平澤 裕美子

採用医薬品(令和4年3月末)

	内服薬	外用薬	注射薬	合計
採用医薬品数	159	55	81	295
後発採用医薬品数	29	17	23	69
後発医薬品比率(品目割合)	50.00%	63.00%	74.20%	59.50%
後発のある先発品	29	10	8	47

後発品比率

品目割合	59.50%
金額割合	49.10%
数量割合	77.50%

$$\text{後発品比率(\%)} = \frac{\text{後発品採用品目数}}{\text{後発品のある先発品目数} + \text{後発品採用品目数}} \times 100$$

<月次業務報告>

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R3平均
外来	処方箋枚数(院外)(枚)	740	679	731	753	737	798	706	725	747	725	655	809	734
	(院内)(枚)	27	10	6	10	10	13	18	17	15	20	15	17	15
	注射箋枚数(枚)	54	52	64	61	87	55	46	306	235	25	38	55	90
入院	処方箋枚数(枚)	183	183	229	238	229	227	270	181	250	177	222	230	218
	調剤数(剤)	4541	5805	5807	6393	6544	5148	6012	4857	5032	3378	5337	4986	5320
	注射箋枚数(枚)	73	87	96	105	182	145	170	135	141	145	231	150	138
	注射処方件数(件)	131	163	205	202	360	307	324	255	284	307	460	287	274
持参薬確認数(件)	24	16	28	15	17	22	17	12	23	24	19	14	19	
退院時薬剤情報管理指導(件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
薬物血中濃度(請求件数)(件)	5	3	2	2	9	9	3	2	3	4	2	3	4	
薬物血中濃度(解析件数)(件)	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
プレアポイド報告(件)	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
医薬品安全性情報報告(件)	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

3. 放射線科

部門の構成人員：1名

報告者名：小倉 裕樹

<診療科の特色>

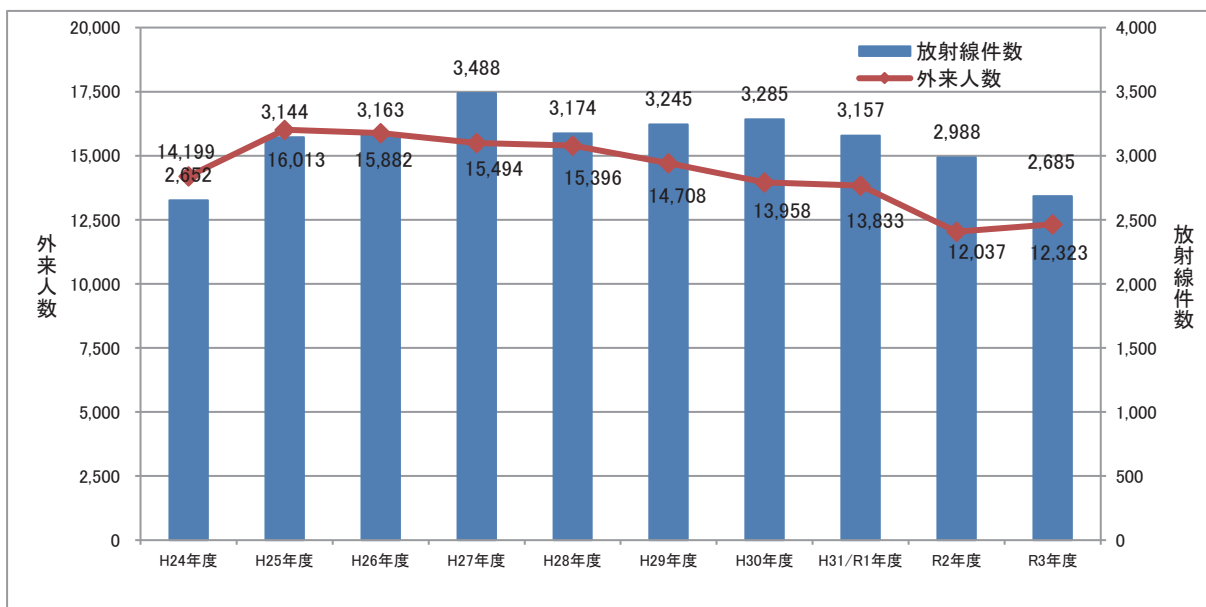
診療放射線技師1名の体制。業務は一般撮影・透視撮影・CT撮影・骨塩定量測定などの放射線検査、岡山市健康診査の肺がん検診を実施しています。また岡山県肺がん精密検診機関でもありますので肺がん精密検診も行っています。撮影した画像は、岡山医療センターの放射線科医が遠隔画像診断を行います。御津・建部地区の開業医院様からの画像紹介の場合も、岡山医療センターの放射線科医が画像診断を行います。開業医院様からの画像紹介お待ちしております。これからも、地域の皆様のかかりつけ病院として、また地域医療の中心として皆様のお役に立てる病院をめざします。

<医療機器>

一般撮影	CR装置 (REGIUS)
骨塩定量	骨密度測定装置 (Dischroma Scan)
透視撮影	デジタルX線TVシステム (Raffine)
CT装置	MSCT (Activion16)

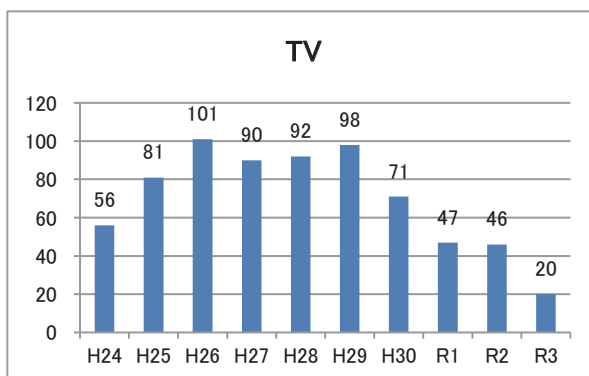
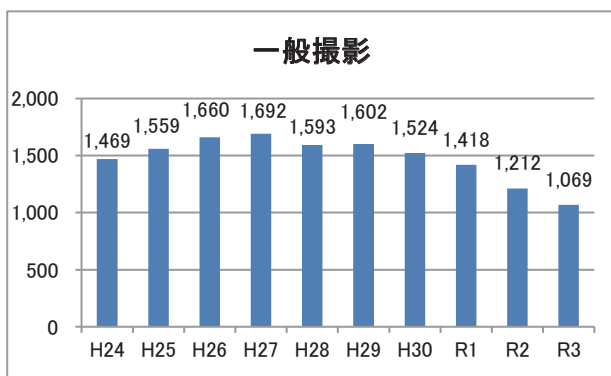
<診療実績>

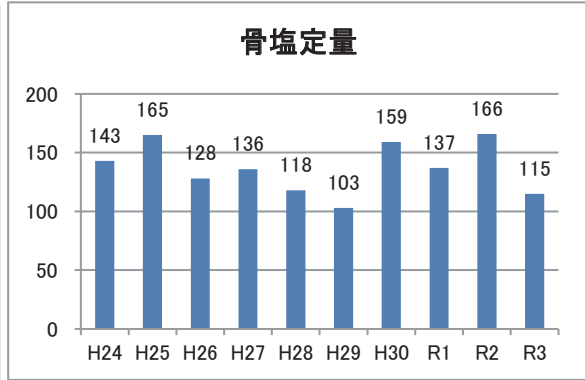
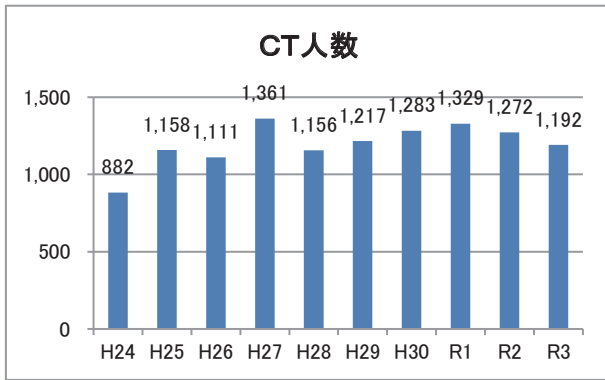
1) 外来人数と放射線検査件数



2) モダリティ別検査患者数

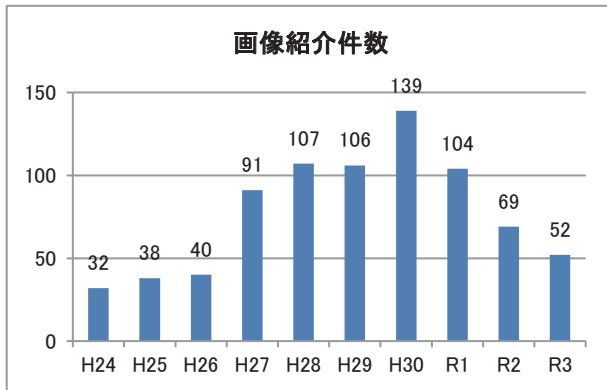
年度 検査別数	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
一般撮影	1,469	1,559	1,660	1,692	1,593	1,602	1,524	1,418	1,212	1,069
TV	56	81	101	90	92	98	71	47	46	20
CT件数	984	1,339	1,274	1,570	1,371	1,442	1,531	1,555	1,564	1,481
CT人数	882	1,158	1,111	1,361	1,156	1,217	1,283	1,329	1,272	1,192
骨塩定量	143	165	128	136	118	103	159	137	166	115
合計	2,550	2,963	3,000	3,279	2,959	3,020	3,037	2,931	2,696	2,396





3) 画像紹介件数

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
画像紹介件数	32	38	40	91	107	106	139	104	69	52



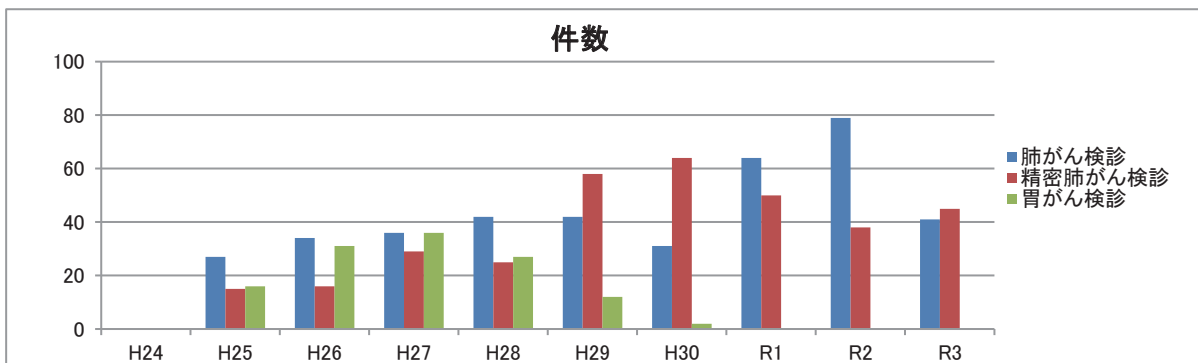
CT装置



TOSHIBA Activion 16

4) 岡山市健康診断検査数

年度	H24 (開院)	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
検査別数										
肺がん検診		27	34	36	42	42	31	64	79	41
精密肺がん検診		15	16	29	25	58	64	50	38	45
胃がん検診		16	31	36	27	12	2			
計		58	81	101	94	112	97	114	117	86



4. リハビリテーション科

報告者名: 安藤 大輝

部門の構成人数: リハ科医師 1 名、理学療法士 2 名、作業療法士 1 名、言語聴覚士 1 名

<令和 3 年度を振り返って>

- ・地域包括ケア病棟維持のため必要単位数(対象患者に 1 日平均 2 単位以上提供)の維持に努めた。
- ・出来高算定向上の為、外来リハビリを積極的に実施した。
- ・出来高算定向上の為、摂食機能療法を病棟と連携し、積極的に実施した。
- ・近隣施設や地域との交流については、新型コロナウイルスの影響により中止しており、来年度以降の再開を検討している。

<業務報告>

1) 理学療法・作業療法実績(入院)

	理学療法			作業療法			呼吸	合計	
	運動器	脳血管	廃用	呼吸	運動器	脳血管			廃用
4 月	442	39	141	31	129	28	112	22	944
5 月	410	59	142	57	154	20	40	33	906
6 月	377	109	163	30	199	14	50	17	959
7 月	414	55	145	23	187	31	48	6	909
8 月	291	102	196	55	110	33	66	25	878
9 月	193	75	263	97	98	29	98	21	874
10 月	381	106	183	43	159	48	60	25	942
11 月	367	33	122	61	132	14	37	43	809
12 月	533	1	39	91	151	0	37	75	927
1 月	309	12	202	84	96	24	51	65	843
2 月	191	96	253	53	78	80	54	30	835
3 月	160	168	317	14	28	160	70	22	939
合計	4,005	846	2,166	639	1,521	481	723	384	10,765

2) 理学療法・作業療法実績(外来)

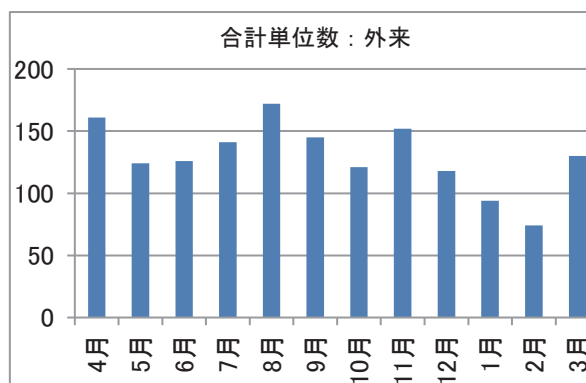
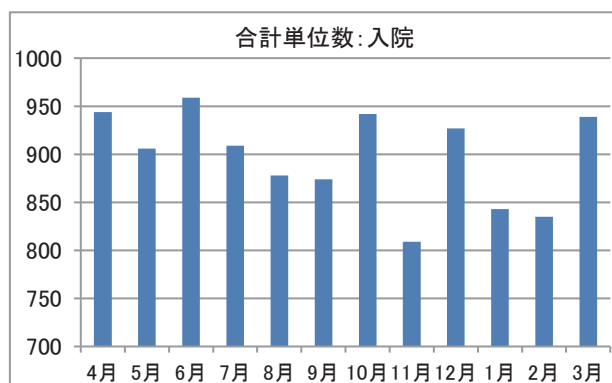
	理学療法			作業療法			呼吸	合計
	運動器	脳血管	廃用	運動器	脳血管	呼吸		
4 月	79	0	0	82	0	0	0	161
5 月	34	0	0	90	0	0	0	124
6 月	42	0	2	82	0	0	0	126
7 月	72	0	0	69	0	0	0	141
8 月	96	0	0	76	0	0	0	172
9 月	53	0	0	92	0	0	0	145
10 月	36	0	0	85	0	0	0	121
11 月	38	2	0	100	12	0	0	152
12 月	31	0	0	79	8	0	0	118
1 月	23	0	0	71	0	0	0	94
2 月	20	0	0	54	0	0	0	74
3 月	32	0	0	98	0	0	0	130
合計	556	2	2	978	20	0	0	1,558

3) 言語療法実績(入院・外来)

	脳血管リハ (単位数)			呼吸リハ (単位数)			廃用リハ (単位数)			摂食機能療法 (件数)			心理・知能検査 (件数)		
	入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	計
4月	6	2	8	17	0	17	28	0	28	0	0	0	12	2	14
5月	23	7	30	8	0	8	18	0	18	0	0	0	11	4	15
6月	11	14	25	16	0	16	36	0	36	17	0	17	13	4	17
7月	3	14	17	2	0	2	26	0	26	21	0	21	11	2	13
8月	14	11	25	20	0	20	34	0	34	13	0	13	4	0	4
9月	10	14	24	17	0	17	27	0	27	5	0	5	11	1	12
10月	34	19	53	16	0	16	16	0	16	0	0	2	9	4	13
11月	17	17	34	29	0	29	8	0	8	1	0	1	10	1	11
12月	0	13	13	22	0	22	4	0	4	14	0	14	8	2	10
1月	4	13	17	18	0	18	15	0	15	35	0	35	4	6	10
2月	17	6	23	18	0	18	21	0	21	33	0	33	5	1	6
3月	53	8	61	7	0	7	22	0	22	0	0	0	3	2	5
合計	192	138	330	190	0	190	255	0	255	141	0	141	101	29	130

4) 退院前家屋訪問

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	2	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1



5. 栄養管理室

部門の構成人数: 1名(管理栄養士)

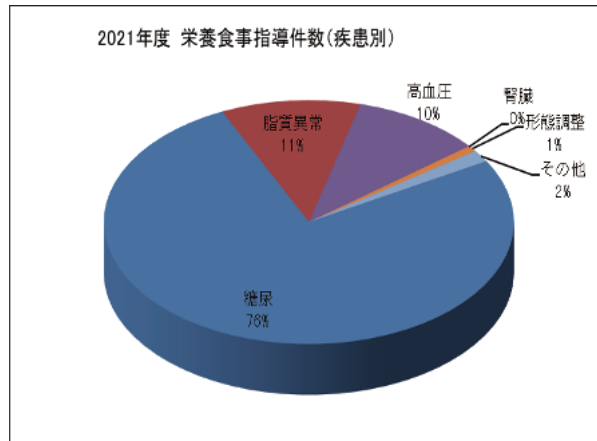
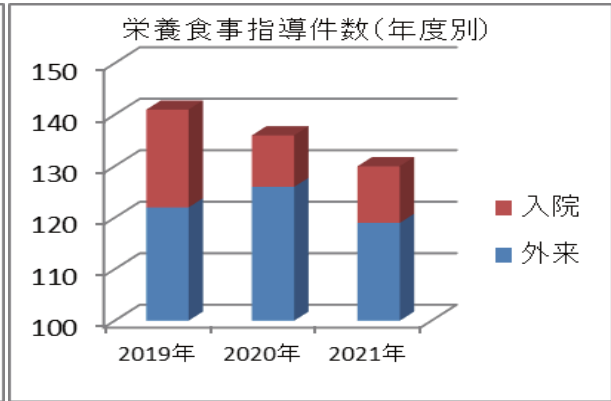
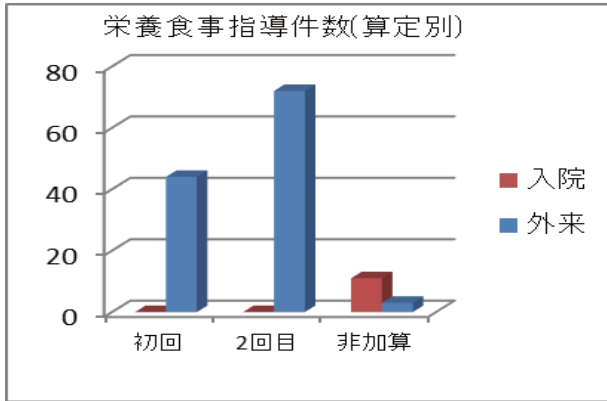
報告者名: 小山 壘

<活動状況>

1) 栄養食事指導

入院・外来患者に対して、医師の指示に従って適切な栄養食事指導を行っている。

入院時の指導に関しては包括ケア病棟のため非加算となる。



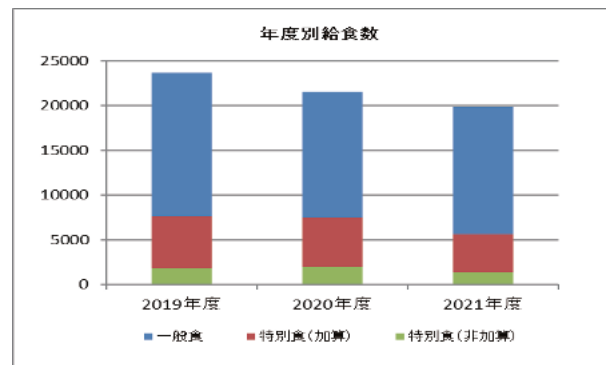
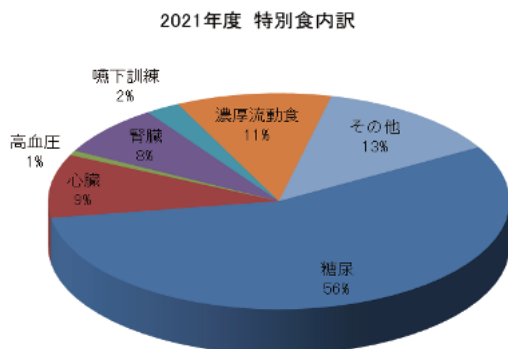
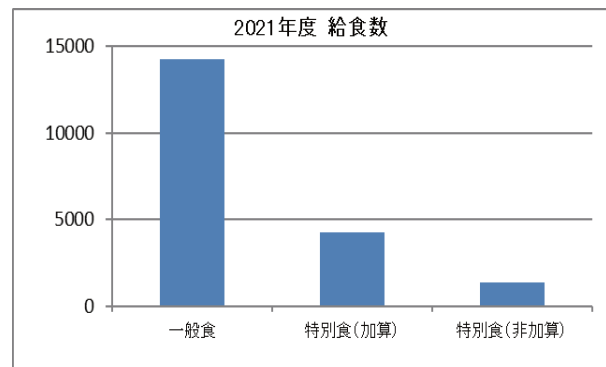
2) 給食管理

【一般食】並菜、軟菜等

【特別食(加算)】糖尿食、心臓食、腎臓食等

【特別食(非加算)】高血圧食、嚥下訓練食等

咀嚼、嚥下状態に合わせて形態調整の対応を実施。



3) 行事食の提供

入院中の食事を楽しみにしていただけるよう、季節、行事に合わせた食事を提供している。



ちらし寿司(ひなまつり)



セタそうめん(セタ)



さつまいもご飯(秋分の日)



スクランブルエッグオムライス(クリスマス)

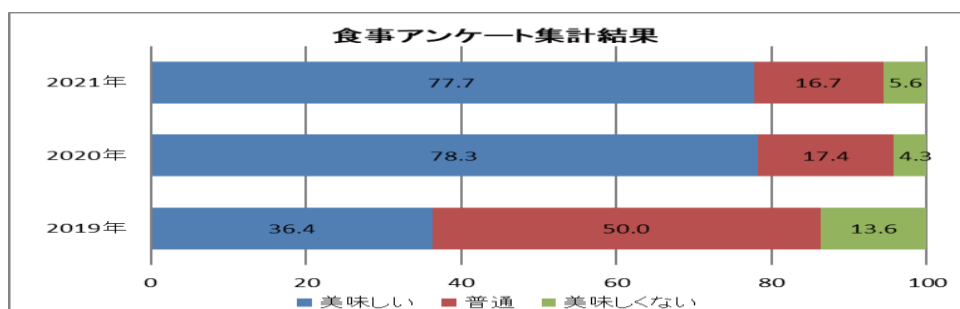
4) チーム活動、ラウンド

各種チーム医療へ参加し、管理栄養士の専門性を活かして患者個々の病態に適した 栄養療法を提案できるよう努めている。

ミールラウンド(毎昼食時)、各カンファレンス、ラウンド(毎週)

5) 嗜好調査

年 2 回、入院患者から食事に対する評価をいただき、献立作成に役立てるために嗜好調査を行っている。調査の結果を参考により良い病院食の提供に努めている。



6. MSW

部門の構成人数: 1 名(MSW)

報告者: 今川 遥香

<部門の特色>

1) 退院調整

患者様、ご家族との面談の中で退院後の生活において心配な点についてお話を伺います。必要に応じて中間カンファレンスを行ない、目標やゴール設定をおこない患者様、ご家族のみならず地域スタッフや院内スタッフがー丸となってより良い支援ができるよう計画します。また退院前カンファレンスの実施をおこない、退院後に関わる地域スタッフとの情報共有をおこないます。在宅復帰が困難な

患者様については、施設入所の調整も行っています。患者様、ご家族が安心して退院できるよう、適宜、話し合いの場を設定しながら調整をすすめています。

2) 家屋訪問

リハビリが進み、退院を視野に入れて考える時期になれば患者様、リハビリスタッフと共に家屋訪問に伺っています。家屋の状況を確認し、退院後の生活で困る面がないかどうかチェックを行い、改善すべき点は福祉用具業者に改修を依頼したり、新たな福祉用具の手配を行います。

3) 地域連携

棟続きに北地域包括支援センター御津分室があり、随時連絡がとり合える状況にあります。支援が必要な患者様の相談を受けたり、介護保険をこれから受けられる方の相談もしています。

御津地区のケアマネージャーとは、『みつ地域退院支援ルール』に基づき連携強化に取り組んでおり患者様に対して、行き届いた支援ができるよう努めています。

みつ訪問看護ステーションは、御津地域全体を網羅するステーションで、密に連携をとっています。既に訪問看護を受けられている患者様に関する問合わせや、介入が望ましい際の新規依頼も行っています。また、MSWは医師と訪問看護師・ケアマネージャーを繋ぐ役割も担っています。

MSW業務統計

(外来)

(援助内容)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心理社会的問題	11	18	22	7	14	18	28	8	13	9	2	11	161
退院支援	3	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	5
受診受療問題	66	51	57	66	65	65	38	27	64	50	40	38	627
経済的問題	0	0	3	1	0	2	0	0	1	0	0	0	7
社会復帰支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
個別外援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	80	69	82	74	79	85	67	36	78	59	42	49	800

(入院)

(援助内容)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心理社会的問題	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退院支援	106	108	149	114	141	126	109	90	115	106	100	136	1400
受診受療問題	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経済的問題	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会復帰支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
個別外援助	5	3	7	7	5	4	5	5	5	4	5	5	60
合計	111	111	156	121	146	130	114	95	120	120	105	141	1460

7. 医局

部門の構成人数：3名（内科医師2名、外科医師1名）

● 研究業績

2021年度はなし。金川病院健康教室：令和3年度は新型コロナのため休止中。